大井町立相和小学校　学校通信

そうわ通信 5月号

《発行日》令和３年５月19日

《発行者》露木　光人

令和３年度の児童会テーマは、第１回児童代表委員会（４月 19 日開催）において、企画委員会から、次のような提案がされました。また、担当委員会からも今後の取組についての提案もされました。

みんなでとろう金メダル
～明るいあいさつ・笑顔で協力・絆を深める相和っ子～

設定の理由：今年はオリンピックの年なので、全校で協力して、金メダルを取りたいと思ったからです。そして、みんなで明るいあいさつをしたり、いろいろな人とコミュニケーションをとったりして、絆を深めたいからです。

始業式や入学式においても、あいさつのことにふれました。特に始業式では、あいさつすることがなぜ大切なのかを直接伝えずに、自分たちで考えるようにさせました。

毎朝、校門に立っていると、気持ちよいあいさつができる子が多く、とても感心させられます。ただ、漠然と行っている状況だったり、「おはようございます」は言えても、日中「こんにちは」はほとんど聞こえてこなかったりと、これからの頑張りを期待するところです。

何事もテーマや目標を「立てた後」が大切なのは言うまでもありません。自分たちで立てたテーマなので、**「継続」と「徹底」**を意識し、どのような手立てがなされるのか、じっくりと見守りたいと思います。

給食の時間!!

学校生活において、子どもたちはいろいろな時間を楽しみにしています。休み時間には、多くの子どもたちがグラウンドで思い思いの遊びをしています。今も昔も、休み時間は人気№１の時間なのかもしれません。

教科等の学習ももちろん楽しみですが、今回は多くの子が楽しみにしている「給食の時間」にスポットを当ててみます。ご承知のとおり、以前は班の形にして、会話を楽しみながら食する時間でしたが、現在はもちろんそれはできません。しかしながら、その副産物といってもよいかと思いますが、しっかりと噛んでよく食べているなと感じます。写真は、１年生の様子です。かかる時間に個人差はありますが、ほぼ完食でした。

「食」は生きる上での根幹となるものです。継続かつ丁寧に「食」について指導していきます。

～「子育てアラカルト」を掲載していきます～

次号から継続して、「子育て」について連載していきます。自信をもって語れるほど、自身の子育ては立派なものではありませんが、二人の子どもたちが社会人となり、少なからず得た経験や書籍や新聞記事などから考えたことなどを伝えることができればと思います。

「子育てをとおして親として成長する」という言葉がありますが、子どもを授かって初めて親になるので、何が最善かわからぬまま悪戦苦闘の毎日となります。もっといえば、その時に最善だと判断しても、数年後、結果的にほかの方法を選んだ方が賢明だったということも多々あることでしょう。正解をお伝えするわけではありませんが、何かの手掛かりにしていただければ幸いです。

避難訓練　～最悪を想定できますか？～

第１次避難の児童の様子（５年教室）

防災頭巾を外している様子

今年の３月 11 日は、東日本大震災が発災してからちょうど節目の 10 年目を迎え、改めて自然災害等に対する対策を促すテレビ番組が多数放映されました。学校関係でいえば、大川小学校の悲劇は決して忘れてはいけないことであり、受け継がれていく必要があります。

さて、４月 28 日（金）に、本校においても第１回の避難訓練が実施されました。今回の想定は、「県西部を震源とする地震が発生」としたものです。私も、各教室の様子を見に行きましたが、子どもたちは緊張感をもって訓練に向かっていました。当たり前のことではありますが、その当たり前を確実に行えることが相和っ子の強みでもあります。

また、今年度から頭部の保護はヘルメットではなく、防災頭巾を用いています。事前指導の徹底が行われていたので、大きな混乱もなく装着できました。

訓練は、今後も継続的に実施しますが、マニュアルに沿った形だけの訓練にならぬよう、計画していきます。

この機会に、改めてご家庭での発災時の確認ごとを子どもたちと共有しておいていただけると幸いです。

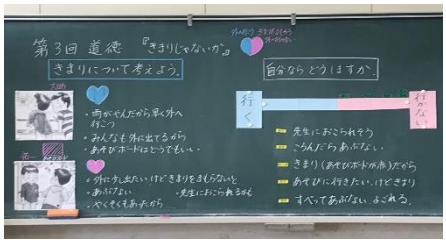
校内研究の推進　～教員は授業で勝負！～

学校生活の大部分を占めるのが「授業の時間」です。子どもたち一人ひとりにとって、得意な教科や好きな教科、また苦手な教科もあるかと思いますが、日々一生懸命がんばっている様子が見られ、うれしく思います。しかしながら、指導者も子どもたちもまだまだ十分とは言い切れない点があるのも事実です。

さて、すでにご承知かと思いますが、我々は、「校内研究」「研究授業」等をとおして、指導方法改善をめざし取り組んでいます。具体としては、子どもたちの現状を把握し（Research）、指導計画を立案（Plan）、授業実践（Do）、検証・評価（Check）及び改善（Action）というサイクルを継続し、子どもたちにとってよりよい授業を模索しています。子どもたちとの人間関係の構築を最優先とし、同時に指導力向上を図っています。これからも、「教員は授業で勝負！」を合言葉に校内研究を推進していきます。

←実感を伴う体験活動は貴重な時間となる。写真は、５年生が米作りについて、地域の方の話を伺っている様子

↑６年生の教室では、自分の考えを積極的にアウトプットする場面が数多く見られる



↑大型提示装置等の活用も大切だが、やはり黒板の効果的な活用も求められる。写真は３年生教室の黒板

【お知らせ】　「小・中学校の教科書展示会」が開催されます

＊期間及び時間　令和３年６月 11 日（金）～令和３年６月 30 日（水）
午前９時～午後５時　＜ただし、土・日曜日を除く＞

＊展示会場　足柄上合同庁舎　本館２階　県西教育事務所　教科書センター